

今回から、「認知症」について6回にわたり、ご紹介いたします。

最近、マスコミ等をにぎわしている認知症。これは今後、団塊の世代が多くなる2025年問題（'25年には団塊の世代が75歳前後）が大きく影響していることが背景にあります。つまり、今後これまでにない大量の高齢者が出現するからです。

今回は、基礎的な知識として認知症を正しく理解することにしたいと思います。

認知症の  
基礎知識

若年性認知症  
について

認知症の  
診察と施設

認知症の変遷  
と接し方

認知症対応  
新薬と事故

国の対応

## 1. 認知症と物忘れの違い

参考:認知症に向き合う本 新日本出版社

認知症の方の記憶症状は、「すっぽり型」の物忘れといわれることもあり、出来事をすっぽりと忘れることが特徴です。例えば、数日前、知人とあつて食事したことを丸ごと忘れていたような場合です。

通常の物忘れの方は、食事した店の名前がどうしても思い出せない、あるいは会話に出てきた共通の知人の話題がどういう話題だったか思い出せないことにあります。

	もの忘れ	認知症
忘れ方	体験の一部を忘れる	体験の全部を忘れる
進み方	さほど進行しない	徐々に進行する
自覚	もの忘れを自覚している	もの忘れを自覚できない
日常生活	支障がない	支障がある

出所:朝日新聞11/2/2013 記事より

## 2. こんな症状があったら要注意

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 切っけすぐに電話の相手の名前を忘れる   | <input type="checkbox"/> 同じことを何度も言う、聞く、する     |
| <input type="checkbox"/> しまい忘れが多く、いつも探し物をする   | <input type="checkbox"/> 財布、通帳、衣類などを盗まれたと人を疑う |
| <input type="checkbox"/> 料理や片付け、計算などのミスが多くなった | <input type="checkbox"/> 新しいことが覚えられない         |
| <input type="checkbox"/> 約束の日時や場所を間違える        | <input type="checkbox"/> 慣れた道でも迷うことがある        |
| <input type="checkbox"/> 外出する時、持ち物を何度も確かめる    | <input type="checkbox"/> 身だしなみを構わなくなった        |

出所:認知症の人と家族の会より抜粋

## 3. 認知症とは……

認知症は、誰もがなりうる脳の病気です。いろいろな原因で脳の細胞の働きが悪くなったために様々な障害がおこります。原因からみて2タイプあります。(数字は認知症全体に占める患者の割合)

### ■脳細胞が徐々に死んでいくもの

- ・アルツハイマー型認知症(67.6%)
- ・レビー小体型認知症(4.3%) 等

### ■脳血管性認知症 (脳出血や脳梗塞、くも膜下出血等による)

- ・梗塞性認知症(19.5%)、ビンスワンガー型認知症 等

従来は、脳血管性の患者が多いとされていましたが、最近ではアルツハイマー型の患者が多くなっているとのことです。

また、最近の調査では、65歳以上の人の15%にあたる462万人が認知症となっていることが厚生労働省研究班の調査で明らかになりました。(2013年6月発表)